（C）日刊スポーツ新聞社

1年生小笠原 人生初V

小1から始め10年目『いつも2位で悔しかった』

男子15～17歳の部

札幌光星高

◆小笠原基就（おがさわら・もとなり）1997（平9）10月30日、札幌市出身。小学1年からゴルフを始める。得意なクラブは58度のアプローチウエッジ。家族は両親。170㌢、65㌔。

小笠原は1番ホールで270㍎のドライビングショットを披露した

◇7月31日（11歳以下は29日に競技終了）◇石狩・札幌ベイGC（男子＝11歳以下の部5151㍎、12～14歳の部、15～17歳の部ともに7018㍎、女子＝11歳以下の部5151㍎、12～14歳の部、15～17歳の部ともに5972㍎、いずれもパー72）

2位から逆転

混戦になった男子15～17歳の部は、小笠原のバーディーで決着した。最終18番、外せば4人によるプレーオフだった。プレッシャーのかかる場面にも、フックラインを冷静に読み、1㍍先のカップに沈めた。先輩に競り勝っての優勝に、小笠原は「いつも2位で悔しい思いをしていたので、この優勝は本当にうれしい」と表情を崩した。

苦しい出だしだった。1番パー5で第3打を左にひっかけOBとし、トリプルボギー。2番は池に入れボギーとスコアを落とした。それでも「まだ先はある。耐えればチャンスがある」と言い聞かせた。3、5番でバーディーを奪い前半を38で折り返した。後半もボギーが先行したが、パーでしのいだ。16番で首位に並び、最後はバーディーで抜け出した。札幌光星高の駒井健一郎監督（43）は「今タートの小笠原基就（札幌光星高1年）が最終日74で回り、2日間トータル144で逆転で初優勝を果たした。12～14歳の部は合掌正貴（札幌新川西中3年）、11歳以下の部は高橋遼羽（札幌澄川小5年）が制覇。女子は15～17歳の部で山戸未夢（札幌光星高3年）、11歳以下の部は柏原瑞季（東川小6年）が優勝した。

男子15～17歳の部は初日2位スタートの小笠原基就（札幌光星高1年）が最終日74で回り、2日間トータル144で逆転で初優勝を果たした。12～14歳の部は合掌正貴（札幌新川西中3年）、11歳以下の部は高橋遼羽（札幌澄川小5年）が通算153で3連覇を達成した。12～14歳の部は小祝さくら（北広島大曲中3年）、11歳以下の部は柏原瑞季（東川小6年）が優勝した。

まではハートが弱かったが、今日はよく勝った。これで一皮むけてくれれば」とたたえた。

ゴルフは小学1年から父貢さん（47）の影響で始めた。水泳や空手などの習い事をしていたが「ゴルフはいいスコアが出ると楽しくて」とのめり込んだ。競技大会での優勝経験はなく、今回が初タイトルだ。高校に入り筋トレやランニングをこなし基礎体力をつけている。入学時の体重65㌔は変わらないが、体は引き締まった。自慢でもあり、照れくさくもある。「ズボンがぶかぶかでみんなから笑われてます」と話す。

21日から全国大会（埼玉・霞ケ関CC）に臨む「北海道の代表として恥ずかしくないプレーをしたい」と表情を引き締め、目標スコアを問われると、しばし考え込んだ後、「2アンダーで回りたい」と話した。フレッシュな1年生王者の誕生となった。

初優勝した小笠原は金メダルを首に掛けガッツポーズ

◆男子15～17歳の部2位タイの佐藤太地（札幌光星高3年）　最終の連続バーディーは良かったけど、それ以外は駄目でした。7月初めから連戦が続くけど、崩れないようにすることが全国での課題です。

◆同2位タイの片岡尚之（札幌光星高1年）　18番で1㍍のバーディーパットをカップに蹴られた。1打差なので、悔しいです。

◆同2位タイの七戸勇介（北海学園札幌高3年）（マッチングスコア方式により4位で全国大会に届かず）　去年も4位でした。全国に行きたかった。

◆全国大会出場者

◆15～17歳の部（21～23日、埼玉・霞ケ関CC）　▷男子　小笠原、片岡、佐藤▷女子　山戸、高石

◆12～14歳の部（21～23日、埼玉・霞ケ関CC）　▷男子　合掌、国枝▷女子　小祝、政田

◆11歳以下の部（16日、兵庫・芦屋CC）　▷男子　高橋、浦、宝泉▷女子　柏原、島田陽、内田、島田紗

◆国民体育大会（9月29日～10月1日、東京・武蔵野GC）　小笠原、片岡、佐藤、七戸（補欠）

道ジュニアゴルフ選手権〈最終日〉

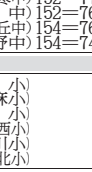
◆道ジュニアゴルフ選手権最終成績◆

順位	選手名	（所属）	通算	IR最終（アウト、イン）
【男子】▷15～17歳の部				
O	❶小笠原基就	（札幌光星高）	144＝70	74（38、36）
＋1	❷佐藤　太地	（札幌光星高）	145＝73	72（39、33）
＋1	❷片岡　尚之	（札幌光星高）	145＝73	72（37、35）
＋1	❷七戸　勇介	（北海学園札幌高）	145＝69	76（38、38）
＋2	❺長谷川大晃	（旭川龍谷高）	146＝76	70（34、36）
▷12～14歳の部				
＋13	❶合掌　正貴	（札幌新川西中）	157＝81	76（41、35）
＋16	❷国枝　太一	（札幌陵陽中）	160＝80	80（39、41）
＋17	❸笹村　心	（札幌西岡北中）	161＝84	77（39、38）
＋19	❹高木　純太	（札幌大谷中）	163＝82	81（40、41）
＋20	❺福　拓樹	（余市東中）	164＝80	84（40、44）
▷11歳以下の部				
＋4	❶高橋　遼羽	（札幌澄川小）		76（40、36）
＋5	❷浦　理玖史	（北広島東部小）		77（36、41）
＋5	❷宝泉　研輝	（札幌幌南小）		77（38、39）
＋8	❹朴　相大	（朝鮮初中高級）		80（38、42）
＋11	❺今城　研人	（札幌上野幌西小）		83（42、41）
【女子】▷15～17歳の部				
＋9	❶山戸　未夢	（札幌光星高）	153＝78	75（36、39）
＋16	❷高石　彩華	（北海学園札幌高）	160＝77	83（42、41）
＋17	❸佐々木理乃	（札幌光星高）	161＝81	80（41、39）
＋18	❹見延　若菜	（北海学園札幌高）	164＝84	80（37、43）
＋18	❹鈴木　邑実	（有朋高）	164＝82	82（43、39）
▷12～14歳の部				
＋3	❶小祝さくら	（北広島大曲中）	147＝75	72（33、39）
＋4	❷政田　夢乃	（札幌新川西中）	148＝75	73（36、37）
＋8	❸山田　彩歩	（札幌東月寒中）	152＝77	75（40、35）
＋8	❸桜田　優	（藤女中）	152＝76	76（39、37）
＋10	❺吉本ここね	（札幌南が丘中）	154＝76	78（38、40）
＋10	❺四村彩也香	（札幌北野中）	154＝74	80（39、41）
▷11歳以下の部				
＋1	❶柏原　瑞季	（東川小）		73（36、37）
＋8	❷島田　陽菜	（江別大麻小）		80（40、40）
＋8	❷内田　琴子	（南幌小）		80（40、40）
＋10	❹島田　紗	（江別大麻西小）		82（42、40）
＋12	❺福　晏蘭	（余市黒川小）		84（40、44）
＋12	❺早坂はる菜	（札幌西岡北小）		84（42、42）

【注】順位は5位まで

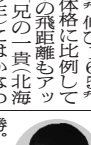
各カテゴリー3位までの声

インで攻めた 76で逆転合掌



男子12～14歳の部　初日5位スタートの合掌が最終日76で回り、通算157で逆転で初優勝した。「インが好き」と、前半から攻め2バーディー、1ボギーの35をマーク。後半も41でまとめた。中学3年になり身長が10㌢伸び165㌢になった。体格に比例してドライバーの飛距離もアップしたが、「兄の一貫北海学園札幌3年にはかなわない」と目標は高い。中学最後の全国大会に向け70台で回りたい」と意気込んだ。

びっくり勝利 140㌢高橋



男子11歳以下の部　身長140㌢の高橋が76をマークし、初出場初優勝。「（1学年上の）6年生が優勝すると思っていたので、自分が勝ってびっくりした」と目を丸くした。

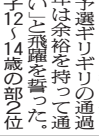
初エース

○…**男子11歳以下の部**で山本詠太（札幌手稲中央小）が、12番パー3（94㍍）でホールインワンを達成した。自身初のエースは9番アイアンを選択し、ショットはそのままカップに吸い込まれた。「打ったら入ったのでビックリした。エースは初めてで、また入れたい」とうれしそうだった。

◆男子12～14歳の部で2位の国枝太一（札幌陵陽中2年）　2日ともパット数が40を超えてくらい悪かった。

◆同3位の笹村心（札幌西岡北中3年）　初日84が悔しい。スタートからショットが曲がってしまった。

16年ぶりV3 人70台山戸

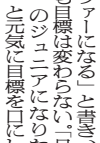


女子15～17歳の部　山戸が16年ぶりとなる大会史上3人目の3連覇を達成した。「3連覇は考えないようにしていたが緊張した。優勝できて本当にうれしい」。昨年夏に右手親指の靱帯（じんたい）を断裂。今年6月に痛みが治まらなくなり、手術を受けた。「本当に治るのか不安だった」。クラブを握ったのは2週間前からだったが、この日はただ1人70台の75。次の目標は10月のプロテスト。「これからしっかり練習する」と先を見据えた。

◆女子15～17歳の部で2位の高石彩華（北海学園札幌高2年）　20㌢のパットを外すなどショートパットが決まらなかった。全国までに修正する。

◆同3位の佐々木理乃（札幌光星高1年）　練習ラウンドより風がなくいいコンディションで回れた。ミスしたアプローチなどの課題が見つかった。

目標の全国へ 飛躍誓う小祝



女子12～14歳の部　小祝が72で回り、初日2位タイから逆転で初V。昨年は2位だったが「リベンジとかは気にしていません。全国に行くことが目標だったので、優勝できてうれしい」と笑った。前半は15㍍のロングパットを決める など4バーディー、1ボギーの33の好スコア。それでも「アンダーが出なくて悔しい」とこの日72のスコアを悔しがった。昨年の全国大会は予選ギリギリの通過で「今年は余裕を持って通過したい」と飛躍を誓った。

◆女子12～14歳の部2位の政田夢乃（札幌新川西中2年）　2連覇できなくて残念。来年は必ず取り返します。

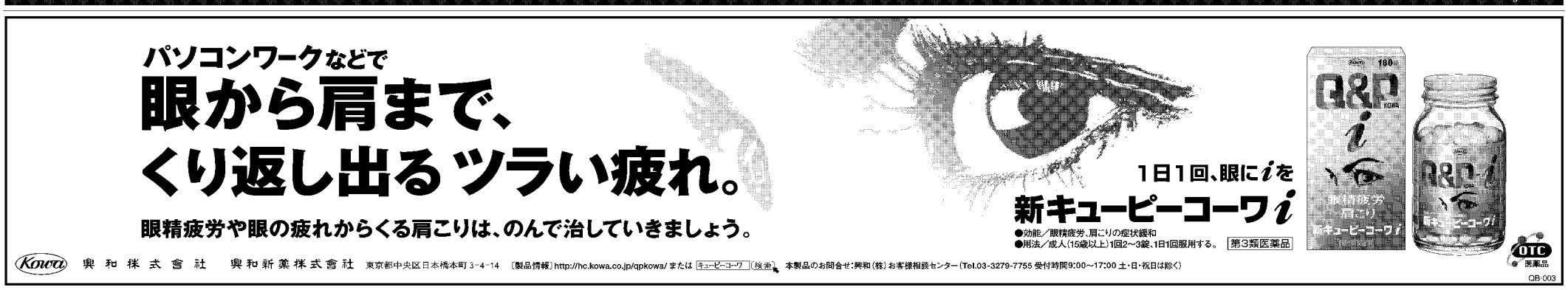
◆同3位タイの山田彩歩（札幌東月寒中3年）　前半ショットやグリーンまわりが崩れた。全国中学ではいいスコアを出したい。

◆同3位タイの桜田優（藤女中3年）　2日間同じ76が出せて良かった。後半はミスを引きずらないように心掛けて、最後にバーディーフィニッシュできた。

雪辱うれしい 目標プロ柏原

女子11歳以下の部　昨年2位の柏原が73で回り、2位に7打差をつけ初優勝した。「昨年のリベンジで優勝ができてうれしいけど、内容が微妙…」と、アンダープレーが目標だったこともあり、喜びながらも反省も忘れなかった。幼稚園の卒園文集に「プロゴルファーになる」と書き、今も目標は変わらない。「日本一のジュニアになりたい」と元気に目標を口にした。

私たちは北海道のアマチュアゴルファーを応援します

〈順不同〉

札幌ゴルフ倶楽部
札幌国際カントリークラブ
小樽カントリー倶楽部
札幌ベイゴルフ倶楽部
苫小牧ゴルフリゾート72 エミナゴルフクラブ
北海道ブルックスカントリークラブ
クラークカントリークラブ
札幌芙蓉カントリークラブ
北海道ゴルフ連盟 会長 吉野次郎
ザ・サン・グループ 代表 高江一王
PGA北海道プロゴルフ会 会長 白石範隆
大和リゾート㈱ ロイトン札幌 支配人 大浦隆司